

現代の国語 単元指導計画

日時	令和〇年〇月〇日 (〇)	場所	1年〇組 教室
クラス	1年〇組 (〇〇人)	授業者	〇〇 〇〇
科目名	現代の国語	単元名	評論
使用教材	「わかろうとする姿勢」 (鷲田 清一)	使用教科書	『探求 現代の国語』 桐原書店
教材観	<p>本教材では、「他者を理解するということは、感情や意見の一致ではなく、自分と他者の違いを認識することだ」と述べている。人はそれぞれ異なる経験や背景をもち、完全に理解し合うことは不可能だが、それでも「分かろうとする」姿勢をもつことが重要だと説いている。</p> <p>生徒の中には、正解は一つだと思い、他者の意見や考えに流される者も少なくない。このような生徒に対し、「対話」を通して、他者の意見や考えを聞き、自分の考えを深め、「分かろうとする姿勢」とは何かを考えさせるのにふさわしい教材である。また、本教材は言語活動におけるコミュニケーションの質を向上させるための鍵となると考える。</p>		
生徒観	<p>専門科目の授業では、実技や理論の習得を通して、自己表現のための感性や想像力を高めている。生徒は鋭い感受性をもつ反面、抽象的な観念や概念、およびそれらに関する言語活動に対して苦手意識を抱くこともある。表現に対する探究心や主体性は高く、作品の背景にある人間の感情や社会的な文脈にも強い関心を示す傾向がある。授業では生徒の感性や表現力をいかしながら、言葉による思考と対話の楽しさに気づかせることで、国語への学びをより身近なものにしたい。生徒一人ひとりの表現の可能性を尊重し、多様な解釈を認め合う授業を目指す。</p>		
指導観	<p>生徒たちは日常的に多くの言葉を交わしているが、その背後にある感情や葛藤にまで目を向ける機会は少ない。だからこそ、「対話」という視点から評論を読むことで、言葉を通じて他者とどう関わるか、自分自身の考えをどう深めるかという根源的な問いに気づかせたい。</p> <p>授業ではグループ学習を取り入れ、意見の違いや共感を共有する活動を通して、他者の解釈を受け止めながら自分の解釈を深める姿勢を育てたい。評論の読解にとどまらず、生徒同士の対話そのものが学びとなるような場面をつくることで、単元の学習がより実感を伴ったものになると考える。</p>		

1 単元の目標

- (1) 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句と語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 [知識及び技能] (1) エ
- (2) 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。 [思考力, 判断力, 表現力等] A(1)オ
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 「学びに向かう力, 人間性等」

2 単元の言語活動

本単元の教材で学んだ内容を基に、自分の考えについてスピーチをしたり、それを聞いて、同意したり、質問したり、論拠を示して反論したりする活動を通して「わかる」について考える。

(関連：[思考力, 判断力, 表現力等] A (2) ア)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句と語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)	① 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。(A(1)オ)	① 「わかる」という言葉の意味を確認することを通し、教材への関心を高め、「わかろうとする姿勢」についてグループワークで積極的に意見交流する中で、自らの学習を調整しようとしている。

4 指導と評価の計画（全5時間）

次	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
第1次 (1時間)	○単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ○「わかる」とはどのようなことをテーマに、他者に対する「わかろうとする姿勢」について考える。 ○本文の通読をし、段落分けを行う。 ○第1段落の読解 ○対話（グループ活動）	[知識・技能] ① [思考・判断・表現] ①	「記述の確認」
第2次 (1時間)	○第2段落の読解 ○対話（グループ活動）	[思考・判断・表現] ①	「記述の確認」
第3次 (1時間)	○第3段落の読解 ○対話（ペア+グループ活動）	[思考・判断・表現] ①	「記述の確認」
第4次 (1時間)	○第4段落の読解 ○対話（グループ活動） ○教材全体を通して「わかろうとする姿勢」とは何か。「わかろうとする姿勢」を自分の言葉で表現させる。(宣言)	[思考・判断・表現] ① [主体的に学習に取り組む態度] ①	「記述の確認」
第5次 (1時間)	○発表 ○単元の振り返り	[思考・判断・表現] ① [主体的に学習に取り組む態度] ①	「記述の分析」

【単元の流れ】

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ○第1段落の読解。 ○「わかる」とはどのようなことを考える。 ○「わかったつもり」だったけど、間違っていた経験についてグループで話し、「わかる」について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を読む前に「わかる」の意味について確認させる。 ・第1段落の読み取りを行い、自分の体験をグループで共有させる。 ・「わかったつもり」だったけど、間違っていたことに気づき、どうすれば「わかる」に繋がるかを考えさせる。 ・クラスで共有させる。 	<p>[知識・技能]① 「記述の確認」ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記載の内容を確認する。 <p>[思考・判断・表現]①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文読解で得た知識が、グループワークでいかされているかを確認する。自分の考えを広げることができたかを確認する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ○第2段落の読解。 ○グループワークを行う。 ○「相手を理解するための姿勢」とは何かを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2段落の読み取りを行う。 ・グループワークを行い、「相手を理解するための姿勢」とは何か。どうすればこの姿勢に繋がるか対話させる。相手の話を黙って聞く経験をさせる。 ・クラスで共有させる。 	<p>[思考・判断・表現]① 「記述の確認」ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文読解で得た知識が、グループワークでいかされているかを確認する。自分の考えを広げることができたかを確認する。
3	<ul style="list-style-type: none"> ○第3段落の読解。 ○グループワークを行う。 ○「他者の違いを受け入れる」とはどのようなことを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3段落の読み取りを行う。 ・グループワークを行い、「他者の違いを受け入れる」とはどのようなことを対話させる。分かり合えなかった体験や考え方の違う友人とのエピソードなどを共有させる。 	<p>[思考・判断・表現]① 「記述の確認」ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文読解で得た知識が、グループワークでいかされているかを確認する。自分の考えを広げることができたかを確認する。
4 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ○第4段落の読解。 ○例題についてグループで対話する。 ○「わかろうとする姿勢」とはどのようなことを考える。 ○これまでの学習を踏まえ、「わかろうとする姿勢」とは何かを自分の言葉で宣言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第4段落の読み取りを行う。 ・グループワークを行い、「わかろうとする姿勢」とはどのようなことを対話させる。 ・これまでの学習を踏まえ、「わかろうとする姿勢とは○○○ということ」と自分の言葉で宣言させる。 	<p>[思考・判断・表現]① 「記述の確認」ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文読解で得た知識が、グループワークでいかされているかを確認する。自分の考えを広げることができたかを確認する。

5	<p>○発表</p> <p>○単元の振り返りを行う。</p>	<p>・生徒が作成した「わかろうとする姿勢」宣言を発表させる。</p> <p>・これまでの授業を振り返らせ、まとめさせる。</p>	<p>[思考・判断・表現]①</p> <p>・本文読解で得た知識が、グループワークでいかされているかを分析する。自分の考えを広げることができたかを分析する。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p>①</p> <p>「記述の分析」振り返りシート</p> <p>・「わかる」とはどういうことかについて、筆者の考えを理解し、自分の考えをもつことができたかを分析する。</p>
---	--------------------------------	---	---

≪本授業における評価の実際≫

5 観点別学習状況の評価の進め方

共通必修修科目「現代の国語」の「内容」の〔思考力、判断力、表現力等〕「A 話すこと・聞くこと」に関する指導については「内容の取扱い」(1)アに「20～30 単位時間程度を配当するものとし、計画的に指導すること」と示されている。このことを踏まえ、本単元では「A 話すこと・聞くこと」に関する資質・能力を目標に掲げ、単元のまとまりの中でその育成を重点的に図る指導と評価の計画を示している。

(1) [知識・技能] の評価

[知識・技能] ①の「実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句と語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている」状況を、「本文読解やグループワークを通して言葉に耳を傾け、ワークシートにメモをしている」姿(「おおむね満足できる」状況(B))と捉え、主にワークシートの記述の確認し評価する。

本文読解やグループワークに参加できていない状況を C と捉え、個別に声をかけて、グループでの他者の考えに耳を傾けるように促す。

(2) [思考・判断・表現] の評価

[思考・判断・表現] ①の「話すこと・聞くこと」において、「論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している」状況を「グループ内で対話し、他者の考えを聞き、自分の考えを広げ、深めようとしている」姿(「おおむね満足できる」状況(B))と捉え、ワークシートの記述を確認し評価する。

グループワークに参加できていない状況を C と捉え、個別に声をかけて、グループでの他者の考えに耳を傾けるように促す。

(3) [主体的に学習に取り組む態度] の評価

[主体的に学習に取り組む態度] ①の『「わかる」という言葉の意味を確認することを通し、教材への関心を高め、『わかろうとする姿勢』についてグループワークで積極的に意見交流する中で、自らの学習を調整しようとしている』状況を、「ワークシートに他者の考えと自分の考えとそれぞれまとめることができていく」姿(「おおむね満足できる」状況(B))と捉え、振り返りシートの記述や自己評価を分析し評価する。

本単元をもとにした気づきや学びがまとめられず、グループワークにも参加できず、自分なりに宣言が書けない状況を C と捉え、振り返りシートを参考に、単元を通して他者との交流から気づきや学びがどこかにないか探るよう促す。

6. 学習指導案(4時間目/全5時間)

本時の目標： ア 「わかる」という言葉の意味を確認することから、教材の内容への関心を高め、「わかろうとする姿勢」とは何かを考え、宣言をワークシートに書くことができる。

[主体的に学習に取り組む態度]

言語活動：本単元の教材で学んだ内容をもとに、自分の考えについて話したり、他者の考えを聞いて、同意したり、反論したりする活動を通して「わかる」について考える。

本時の展開：

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 5分	<input type="checkbox"/> 本時の目標を確認する。 <input type="checkbox"/> 前時までの学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時はグループワークを行い「わかろうとする姿勢」とはどのようなことを例題を使用して対話し、ワークシートに自分の考えを書くことを確認する。 ・本文とワークシートを確認し、前回の授業のまとめを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで確認させる。
展開① 15分	<input type="checkbox"/> 本文の内容をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかろうとする姿勢」について筆者はどのように述べているかを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が述べていることを分かりやすくまとめる。
展開② 25分	◎グループワークを行う。 ◎クラスで交流する。 ◎各自で宣言を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・例題にあるA子、B子の立場になって考え、言葉で表現する。(ワークシート) ・各自書いたことをグループ内で発表し、交流する。 ・グループ活動を踏まえ「わかろうとする姿勢」とはどのようなことか。他者と自分の考えをそれぞれまとめる。 ・グループでの交流内容を簡潔にまとめて発表する。 ・これまでの学習を踏まえ、「わかろうとする姿勢」とは何かを自分の言葉で表現し、メモジに書き込む。(宣言) 	<p>【本時の目標Aに対する評価規準と評価方法】</p> <p>規準：「わかる」という言葉の意味を確認することから、教材の内容への関心を高め、「わかろうとする姿勢」とは何かを考え、自分なりに理解したことをワークシートに書くことができている。</p> <p>方法：「記述の分析」(ワークシート、机間指導)</p> <p>【状況Cに対する手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の意見を聞き、思ったことを書くように助言する。
まとめ 5分	<input type="checkbox"/> 本時の内容をまとめる。 <input type="checkbox"/> 次回の内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の内容を再確認し、自分なりに宣言が書けているか確認する。 ・振り返りシートに自己評価や感想を書き込む。 ・次回は自分の宣言をクラスで発表し、交流することを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回、発表ができるように宣言を完成させるように促す。